

第8回 ものづくり日本大賞（優秀賞） ミヤギパッケージより5名受賞

1. ものづくり日本大賞とは

ものづくり日本大賞は、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若者人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を顕彰するものです。

■第8回では、5部門（①製造・生産プロセス、②製品・技術開発、③伝統技術の応用、④Connected Industries- 優れた連携、⑤人材育成支援）で公募を行い、厳正な審査が行われました結果、株式会社ミヤギパッケージは、「②製品・技術開発」部門で優秀賞を受賞しました。

2. 創造型企業への転換

同社は、県内のお土産品や泡盛などの様々な包装、梱包資材の幅広い紙器容器を製造

する老舗企業です。パッケージ製造は一般的に受注生産が殆どですが、他社と差別化を図り、価格競争を打破するために「創造型企業への転換」が必要と考え、商品のコンセプト段階からトータルプロデュースし、デザイン性の高い商品を製造するなど、オリジナル商品の開発に力を入れてきました。ものづくり補助金（経済産業省）の活用により、特殊加工機を導入することで、凸版を不要とするフルデジタル処理で3Dニスや金箔の塗布を可能とし、高級感や繊細なデザイン表現するなど商品性をアピールするとともに、コスト削減、品質向上、製作日数の短縮などの、差別化を可能としました。

3. ORIGAMI SAMURAI

同社は、長年培ってきた技術力に、最新機器による3D金箔加工を取り入れデザインした高付加価値商品である「ORIGAMI

SAMURAI」を開発し、国内においては知財戦略として商標を登録しました。海外の顧客を視野に入れ、自社技術によってパーツ数を限りなく少なく設計し、組み立てはシンプルに「のり」も「はさみ」も必要なく制作できるのが特徴です。



メゾンエオブジェへの出展風景



ORIGAMI SAMURAI

同商品は、世界最大級の国際見本市「メゾンエオブジエ」出展を契機にブランド力が高められ、パリの美術館やドイツの百貨店などへの販売実績があります。現在、欧州各国、欧米などの世界のハイエンド市場へ販売・物流チャネルを構築しており、開拓した販路は新たな商品を販売することも可能です。今後は、企業ロゴやシンボルマークを家紋のように入れるなど、企業ニーズに合わせたカスタマイズ商品開発にも力を注いでいます。

4. 第8回ものづくり日本大賞 表彰式

沖縄総合事務局では、1月29日に表彰式を開催しました。

同社では、「パッケージ技術力を活かしたオリジナル商品『ORIGAMI SAMURAI』をきっかけに高付加価値の商品提案を！」というテーマで、森武司氏、崎原光明氏、西里完氏、安里正弘氏、島袋伊吹樹氏の5名が優秀賞となりました。表彰式では、受賞者を代表して、森氏及び崎原氏に対して、当局の仲程次長より表彰状を授与しました。

優秀賞は、長年培ってきたパッケージ技術を活かした高付加価値のパッケージ商品が国内外の市場へ展開されことや、歴史文化を題材としたコトづくりが評価されたものです。

森氏から、日本での百貨店（丸井、ロフト、東急ハンズなど）、海外でのパリのユニクロ、イタリアのブティック、博物館などの取引や、昨年10月にシーバスリーガル（ベルノリカールジャパン）のノベルティとしての製造販売に係る報告があり、また、今後はカスタム発注が増えることを想定したビジネス展開の説明がありました。



シーバスリーガルのノベルティ

5. 受賞により期待される効果

過去の受賞者のほとんどが受賞効果の高さを実感し、「従業員の意欲向上」、「マスコ

ミからの取材が増加」、「企業信用力の向上」に加え、パブリシティ効果、マスコミの取材を通して本製品・技術の認知が広がるなどの効果が報告されており、同社においても、既に多くの問い合わせを受けており、今後の活躍が期待されます。

経済産業部 地域経済課

☎098-866-1730



右から、仲程次長（沖縄総合事務局）、崎原主任（ミヤギパッケージ）、森取締役（ミヤギパッケージ）、本道経済産業部長（沖縄総合事務局）